

高等教育シリーズ第30集

●発行 2020年11月25日
●体裁 A4判 860頁

好評
発売中

大学とは……大学人・行政人必携——

大学設置審査評価法令集 [2020年10月版]

～ 設置基準／設置審査— AC／内部質保証 — 認証評価 ～

編集 高等教育質保証研究会

- “高等教育システム”のパラダイム転換
 - コロナ禍で加速する
「大学とは」のグローバルな再定義
 - 個別の大学等の寿命と冒険
～ 退場か一歩・二歩前進か
- 中教審質保証システム部会審議一石
 - 設置認可審査～AC～法人調査評価プロセスの行政責任の明確化
 - 現行の制度・システムを
法令・内規等からの検証作業
 - 『設置審査要覧』(文教協会)が
刊行ストップし、はや3年
- 本『法令集』の編集・制作過程で判明
 - 「e-Gov 法令検索」(総務省)で
法律・省令データはほぼ取得可。
 - 府省レベルの「告示等」及び「施行通知」は、
文科省「告示・通達」サイトで限定的。省内
検索でも全く「不充分」な情報公表
 - 具体情况は「告示 23/67」「内規・通知 6/31」、
施行通知においては、
「法律・省令等関係 39/91」「告示関係 2/6」
しか取得できず。
 - 「ウェブを見れば分かる」は幻想で迷言。
 - 網羅性かつ通覧性で情報価値が高い本書！

◇ 本書の特徴と活用 ◇

- 『大学設置審査要覧』を継承し、政策と経営のホットな諸課題に対応
- 2020年10月現在の現行法令等145本と
1972年以降の主な施行通知98本を収録
- 専門職教育・共同教育課程・国際連携教育等の新たな制度の関連規程等
- 改組転換・増設等の教学プラン作成と設置認可・届出設置の実務対応
- 大学とは ～ 現行法令の構成・内容の検証から新・高等教育の全体構築へ
- “事前規制”から“事後チェック”の設置審査～認証評価政策のリセットと行政責任
- 徹底した情報公開が拓く、大学の自主・自律と主体性と経営責務
- 法人ガバナンスと大学マネジメントによる高等教育の質保証と向上

◇ 本書の構成 ◇

I. 法令集

- 教育基本 大学・高専教育 設置基準等 設置運営質保証等
設置者 設置・法人審議会等 申請手続等 その他法令
- 憲法 14 法律 7 政令 25 府省令・規則 67 告示 31 内規・通知

II. 施行通知集

- 1972 (昭和47) 年から2020 (令和2) 年までの主な通知等
- 法律・政令・府省令・規則・告示の制定・改正に係る98本
- 通知一覧とその概要・要点とともに、通知全文を収録

III. 資料編

- 認証評価機関 (機関別) の各評価基準等
- 大学のガバナンスと質保証に係る政策フレーム

推薦のことば

(敬称略/肩書は執筆時)

※推薦文の全文は <http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

西井 泰彦

日本私立大学協会附置私学高等教育研究所 主幹
(学) 就実学園 理事長

早田 幸政

中央大学 理工学部 教授
(公財) 大学基準協会 大学評価研究所 一般研究員

吉田 文

早稲田大学 教育学部 教授

前田 早苗

千葉大学 大学院国際学術研究院 教授

鬼頭 宏

静岡県立大学 学長
(一社) 公立大学協会 会長

小林 雅之

桜美林大学 総合研究機構 教授
日本高等教育学会 会長

濱名 篤

(学) 濱名山手学院 理事長
関西国際大学 学長

川口 昭彦

(独) 大学改革支援・学位授与機構 参与 名誉教授
(一社) 専門職高等教育質保証機構 代表理事

金田 淳一

(一社) 大学行政管理学会 会長
法政大学 多摩事務部長

羽田 貴史

高等教育史研究者
広島大学 東北大学 名誉教授

山田 礼子

同志社大学 社会学部 教授
(一社) 大学教育学会 会長

大澤 忠廣

ヤマザキ動物看護大学 事務局長

吉本 圭一

滋慶医療科学大学院大学 教授
日本職業教育学会 会長

井原 徹

(学) 白梅学園 理事長

大学設置審査評価法令集 [2020年10月版]

～設置基準／設置審査— AC／内部質保証 — 認証評価～

□ 第1部／法令集

第1編 教育基本

- 日本国憲法(抄)
- 教育基本法

第2編 大学教育・高等専門学校教育

第1章 総則

第1節 総則

- 学校教育法(抄)
- 学校教育法施行令(抄)

- 学校教育法施行規則(抄) 他 1 省令

第2節 学位関係

- 学位規則

- 学位の種類及び分野の変更等に関する基準 他 4 告示

第3節 入学資格・編入学資格関係 16 告示

第2章 大学設置基準等

第1節 大学関係

- 大学設置基準

- 大学の専門職学科に関し必要な事項を定める告示

- 大学通信教育設置基準

- 専門職大学設置基準 他 12 告示

第2節 短期大学関係

- 短期大学設置基準

- 短期大学の専門職学科に関し必要な事項を定める告示

- 短期大学通信教育設置基準 ○専門職短期大学設置基準

- 専門職短期大学に関し必要な事項を定める件 他 9 告示

第3節 大学院関係

- 大学院設置基準

- 専門職大学院設置基準 他 10 告示

第4節 高等専門学校関係

- 高等専門学校設置基準 他 5 告示

第5節 その他

- 大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準

- 令和三年度大学入学者選抜実施要項

- 大学院入学者選抜実施要項

第3章 大学設置運営質保証等

第1節 AC 調査関係

- 設置計画履行状況等調査委員会審査運営内規 他 2 内規

第2節 内部質保証・認証評価関係

- 学校教育法第百十条第二項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令

第3節 情報公表関係

- 大学による情報の積極的な提供について

第4節 管理運営調査・対応関係

- 学校法人運営調査における経営指導の充実について(通知)

第3編 設置者

第1章 私立大学関係

- 私立学校法(抄)

- 私立学校法施行令(抄)

第2章 公立大学関係

- 教育公務員特例法(抄) ○教育公務員特例法施行令(抄)

- 大学の教員等の任期に関する法律(抄)

- 地方独立行政法人法(抄)

- 地方独立行政法人法施行令(抄) 他 2 法律 1 省令 1 告示

第3章 国立大学関係

- 国立大学法人法(抄)

- 国立大学法人法施行規則(抄)

第4編 教育行政組織

第1章 文部科学省及び大学設置・学校法人審議会等

- 1 法律 3 政令 1 省令

第2章 大学設置・学校法人審議会規則関係

- 大学設置分科会運営規則 ○大学設置分科会審査運営内規

- 学校法人分科会運営規則

- 学校法人分科会審査運営内規 他 16 内規

第5編 申請手続等

第1章 設置認可・届出関係

- 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則 他 2 告示 1 内規

第2章 寄附行為(変更)認可・届出関係

- 私立学校法施行規則(抄)

- 学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

- 他 1 告示 2 内規

第3章 主な認可・届出・指定・認定事項一覧

第4章 その他届け出・報告関係

- 私立大学等の学長決定及び公私立大学等の学則変更等の届出等について(通知) 他 1 省令

第6編 その他関係法令

第1章 特例措置関係

- 構造改革特別区域法(抄)

- 文部科学省関係構造改革特別区域法施行規則(抄)

- 他 3 府省令 2 告示

第2章 その他

- 行政手続法

- 労働契約法

- 他 1 法律 2 府省令

□ 第2部／施行通知集

第1章 学校教育法・大学設置基準等の制定・改正の

主な施行通知等の一覧とその概要

～ 1972年3月以降の法律・政令・府省令・規則・告示の

主な施行通知 98本を収録 ～

第2章 学校教育法・大学設置基準等の制定・改正の

主な施行通知等

□ 第3部／資料編

第1章 5認証評価機関(機関別)の各評価基準等

- 第1節 大学関係 (5機関)

- 第2節 短期大学関係 (3機関)

- 第3節 高等専門学校関係 (1機関)

第2章 大学のガバナンスと質保証に係る政策フレーム

※詳細はHPをご覧ください。

○ 激変環境下の法人・教学トップにとっての重要テキスト

西井 泰彦

高等教育を巡る環境は激変している。私立大学を担う責任者にとって、大学教育の改革や大学組織の改変は不断の使命である。一方、設置認可行政は年ごとに複雑に変化しており、その手続きや事務は極めて難解である。本書は、これまでの『大学設置審査要覧』(文教協会 刊)の内容に最新の法令と施行通知を加えるとともに、認証評価機関による評価基準等を掲載している。設置認可申請等の企画部署や認証評価等に係る IR 部門だけでなく、大学の教学執行部や教務事務等の担当者、更には、大学及び学校法人の経営者にとっても、改革の取組みを進める上の重要なテキストであり、手元に置いておくべき基礎資料である。

○ 総評的コメント、注目した箇所、そして質保証への提言

早田 幸政

本書は、設置形態や高等教育機関の特性に配慮し、分かりやすくかつ実践的に活用しやすい整理がなされている。日常的に参考に供すべき法令情報が満載され、現場の実務担当者にとってその利用価値は計り知れない。しかも理解し易い形でそれらが記載されており、ぜひ手許に架設しておくべき必須的な法令集である。「認証評価」を掌る評価機関の個別評価基準や大学質保証に係る昨今の政策フレームを記した文書も掲載され、大学の事後的な質保証に対応しており、大いに評価したい。今後、予想される設置基準の大幅改正に対応させることはもとより、各認証評価機関の補足文書の搭載も大切である。

○ 驚き、発見し、楽しく読む包括・体系的法令集

吉田 文

大変便利な書籍が出た。日本の高等教育の骨格が法令によって作られ、高等教育の活動を規制するとともに、他方で、それを保護していることがよくわかる。私にとっての圧巻は、第二部の施行通知集で、法令がいつ、どのように改正されたかを知ることができる。高等教育政策の変遷を明らかにするための一助となり、貴重な研究資料である。本書は、いくつもの思いがけない発見ができる楽しい読み物でもある。政策立案の議論の場や、設置審査や評価のマニュアルとして使うだけではもったいない。

○ 研究者、職員、経営者にとっての様々な有用性

前田 早苗

法令集には、大学にとって新たにどのような可能性が拓けるのかを俯瞰的に確認できる良さがある。大学自身による内部質保証の重要性が強調され、自律的な質向上への取り組みが期待される流れの中で、大学設置基準はさらに緩和される可能性はある。現行の基準をあらためて読むと、抽象度の高い条文には大学の自律性が尊重されているものもある。その意味をどう解釈するかは、認可審査や認証評価に任せるのではなく、大学の質を考えるうえで重要なことだろう。

○ 2020年代の大学改革 — 新時代への備え —

鬼頭 宏

各地で連携や統合への動きが加速している。平成時代は私立大学から公立大学への転換が目立ったが、近年は国立大学の法人統合が進められている。さらに、国公私立の枠

組みを超えた「大学等連携推進法人(仮称)」の制度化も間もない。変革の時代に、まとまった形で法令集が編まれたことは、大学経営に携わる者にとってはありがたい。高等教育シリーズの第1集が1981年に刊行されてから40年目、第30集の記念すべき出版を祝したい。

○ 思わぬ情報、見知らぬ法令や通知にも出会う「重要さ」

小林 雅之

関連法令や通知を見る際の利便性がいっそう増し、大学評価や質保証の作業にも大いに活用できる。通知や資料などは、その存在を前もって知らない限り、見つけ出すことはきわめて難しい。この法令集は目次から容易に見つけることができる。バラバラとページをめくることで、見知らぬ、思わぬ情報を得ることができる。これはたいへん貴重なことだ。インターネットと紙媒体の資料の両者を使い分けていくことが重要なのだ。

○ 高等教育研究者と大学管理者の二足の草鞋びとから

濱名 篤

大学の設置認可申請や認証評価というのは激務であることはよく知られている。一つの基準だけを見て行えるものではないし、関連業務について理解がないと難しい。WEB上を調べれば出てくるというのは、関連業務や知識をすでに持っている人には可能でも、どのような基準や内規があるかを承知していない大部分の担当者にはつらいセリフである。設置審査や認証評価などに申請者と審査側の両方に長く関わった一人として、この分厚い資料集(?)を歓迎したい。

○ 「黒船」コロナに立ち向かう高等教育システム

川口 昭彦

日本の大学の国際的な存在感の低下が危惧されるが、「黒船」コロナを好機として捉え、改革に取組み、「危機を通じて強くなる」ことを期待したい。また、それぞれの大学が目標としている学修成果に関して、自ら質保証することが不可欠である。筆者が「大学評価文化」という言葉を提案した際、醸成、定着、成熟の三段階を想定した。今や、「定着」段階には達している。「成熟」とは、社会が評価結果を活用する段階であり、これからの認証評価制度の議論は、アカウンタビリティをいかに果たすかが重要な論点である。

○ 大学職員の「武器」としての活用を

金田 淳一

『大学設置審査要覧』はこれまで設置認可に携わる職員にとっては、バイブル的な存在であった。それが数年発行されていない中で、本書の発刊は時宜を得た、待ち望まれた出版である。設置認可・届出や認証評価申請の業務は、職員にとって教員とのまさに「教職協働」の典型といえるだろう。そのときに本書は職員が業務をリードし実行するための「武器」となると確信する。直接の業務に関わらない職員に対しても、大学が本書に基づき研修会を企画・実施することは、職員としての基礎知識を高めるうえで十分効果があるだろう。そのように活用されることを切に望みたい。

(☞次頁に続く)

○ 誰もが読める環境、自在に読みこなす職員・教員がいる大学へ
羽田 貴史

これらの規則は、大学とはなにか、どのように組織が作られているかを物語る共通のコードであり、アーキテクチャ（構造設計書）なのである。法令の類は、大学に関わる全ての人間が共有して初めて意味を持つものだ。だからこそ透明性が高く、恣意的な裁量でなく実施されるべきで、誰もが読める環境が民主主義というものではなからうか。法令は職員・教員が大学の理解と創造力を高めるにも絶好の教材であり、設置審査法令を自在に読みこなす職員・教員がたくさんいる大学は、マネジメントもしっかりできるはずだ。

○ コロナ禍後の設置基準・認証評価基準改訂への対処
山田 礼子

今後の大学設置審査、認証評価等において大学が知っておくべきだけでなく、どう対処していくかについての基礎的資料が多く含まれているという印象を持った。認証評価を受審する際にも法令の解釈だけでなく、第三部の資料編をしっかりと読み込むことが新しい動向にも慌てずに対処できる術であると思われる。また、2020年から続いているコロナ禍は、大学行政、大学での教育の在り方にも大きな影響を与えている。今後の大学教育はハイブリッドが標準化していく可能性もある。オンライン教育や授業内容・方法の進展に伴う質保証の在り方について、設置基準や認証評価基準の改訂が不可欠であろう。特に、これまでの単位制にもとづく基準の見直しも視野に入れていく必要があるのではないだろうか。

○ 私学行政と私学人として執務に携わる関係者に必読
大澤 忠廣

いくつかの法人で継続的に「大学新設・学部増」「専門学校から短大新設」、「大学院設置」、そして「専門職短大設置」等の認可・届出業務に携わって25年余になる。近年、他大学から相談を受ける機会が増えているが、文科省の「手引き」に頼り、残念ながら「法令」レベルのバックグラウンドの勉強に欠ける担当者を散見する。本書を私学に執務する職員の専門書としての利用ができることは幸

いである。関連する政策の構造と問題解決が俯瞰的に読み取られ、各大学・短期大学における活用に期待したい。

○ 高等教育の「新たな公」にむけたルール集成への賞賛
吉本 圭一

本書は「新たな公」に向かう。「はじめに」や「編集後記」では、前書『要覧』までのスタンスからおおよそ想定できない文教政策へのクリティカルな視線が照射されており、これこそが本書の価値、魅力である。「新たな公」へ向けた問いかけの鬼気迫る息づかいがある。大綱化にともなった評価制度の展開が、30年間78本の施行通知から克明に追えることも注目したい。外形的な基準から教育プログラムの学修成果へと焦点が絞られ、いわば政策の不明領域に踏み込んだことによって、いま内部質保証に回帰する流れが生まれている。また、職業教育関係者として大学政策の大きな流れと異なる波紋を見ることができるとも興味深く、いろいろと研究的にエビデンスが把握できることも、「新たな公」へのアプローチがあればこそのことである。

○ 全体を通覧しての感想は……87点の書
井原 徹

「ユニバーシティ・ガバナンス」とは、大学・学校法人における経営（マネジメント）が、大学の社会的責務（USR）を果たし、社会の一員として持続可能な組織として適正な活動を行うよう、組織内の行動・意思決定等の全体機能を適正化させ、又は不適正なものを是正するよう働きかける機能・活動・仕組みととらえる。ガバナンスは「手段」であり、「目的」は教育の質保証・質向上であることを忘れてはならない。第三部のポンチ絵から個別システムの現状と個別システム間の関係性を理解し、全体適合への進捗整備状況を読み取って、将来の課題を推測するのも楽しいことと思う。新型コロナ禍の世界のアカデミアにおいて、わが国の高等教育政策は何処に向かおうとしているのか。何より、私たち“大学人”の見識と覚悟が鋭く問われている。特に、内部監査室及び監事にとっての必携の書として、推奨しておきたい。

<敬称略>



地域科学研究会・高等教育情報センター

<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

東京都千代田区平河町 2-3-10
ライオンズ平河町 101 〒102-0093
TEL (03) 3234-1231
FAX (03) 3234-4993
E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp

キリトリ線(※申込みの折は必ずお送りください)

申 込 書

高等教育第 30 集	大学設置審査評価法令集[2020年10月版]
------------	------------------------

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

申込部課名 _____

申込連絡者 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

必要書類 (✓を入れて下さい)

見積書 日付 (/) 請求書 (/) 納品書

請求書等宛名 _____

年 月 日 _____ 年 月 日 _____

[書店購入用]

[直接注文用]

定価 8,900円
(本体価格 8,091円)
※送料別

定価 8,900円
(消費税込) ※送料別

部数 _____ 冊

部数 _____ 冊

◆この申込書を書店にお持ち下さい。
◆書店様からの直接注文のみお受けします。

（書店用の場合はキリトリ線）

◆メール又はFAXにて、小会までお申込みください。

◆送料については、お問い合わせください。

◆必要書類を同封してお送りいたします。

ISBN978-4-925069-07-6

(2021.1)